

3. 整備工程の検討

(1) 整備の進め方の方針

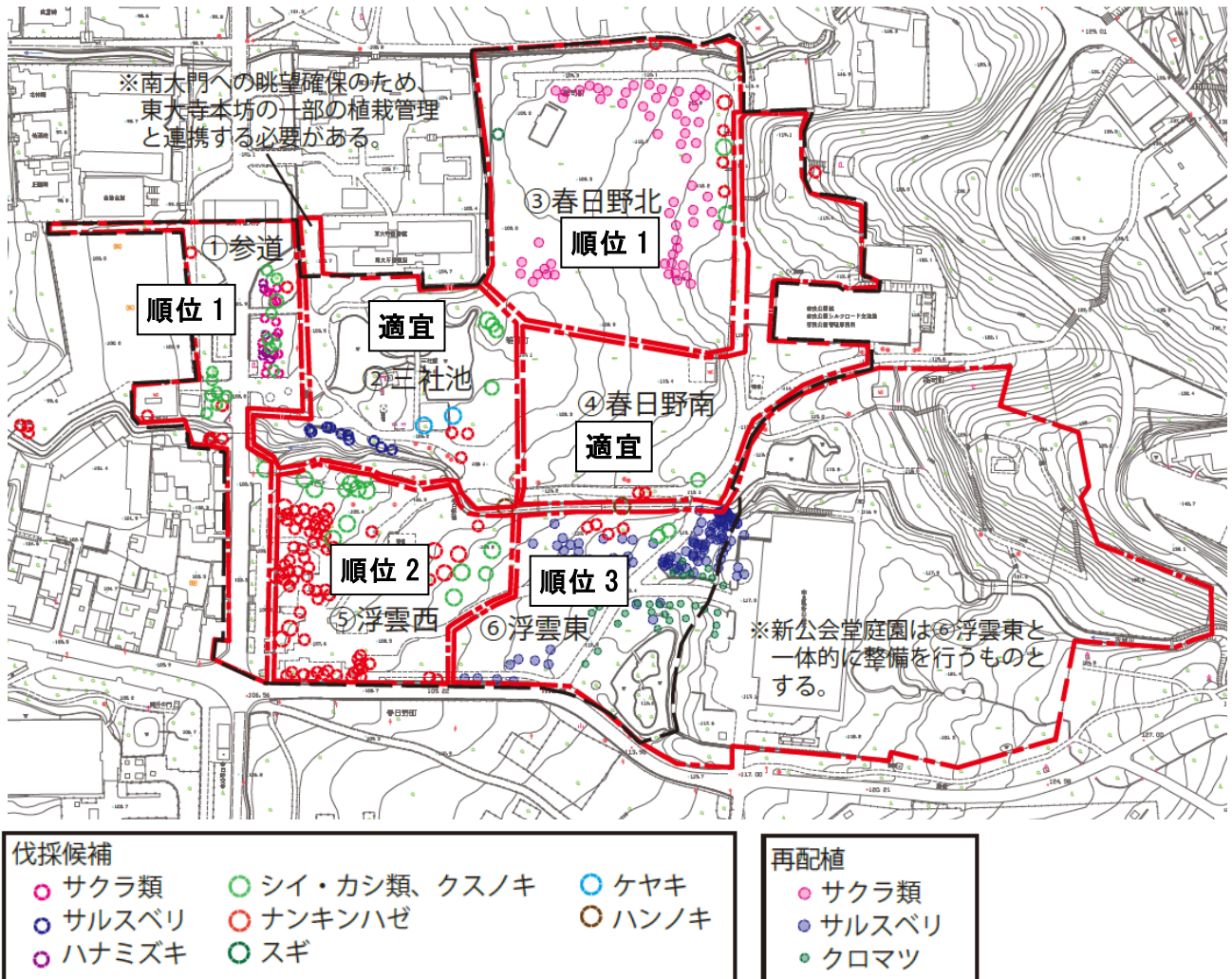
本計画地の整備内容は、一つの整備項目の規模が大きく面的にまとまっていることから、整備の効果影響も大きなものとなりやすい。また、本計画地は利用密度の高いところであるため、工事期間も制限を受けやすい。このため、整備の進め方は、以下の方針で進めるものとする。

整備の進め方の方針

- ①整備箇所によって整備内容や整備量が大きく異なるため、それぞれの工区の特性を踏まえて、整備順序を設定する。
- ②整備は、整備効果が大きく、早期に表われるところを優先する。
(=広く理解が得やすいところを優先する)
- ③計画地外の隣接地等との連携が必要なところの整備は、整備手順や整備方法について十分に検討・調整を行う。
- ④整備による変化が大ききところは、以下の取り組みを行う。
 - ・段階的整備を行い、単年度あたりの整備量を減らし影響を小さくする。
 - ・整備の目的や効果、必要性について広く理解を得るための取り組みを行う。
 - ・重要な眺望景観に関わる整備については、期待された効果を確認するためのチェック体制を構築して事業を実施する。

(2) 整備順序の検討

伐採候補樹木と再配植検討樹木の分布状況等を基に6つの工区に区分した。この6つの工区について整備条件や整備内容から整備順位を検討した。



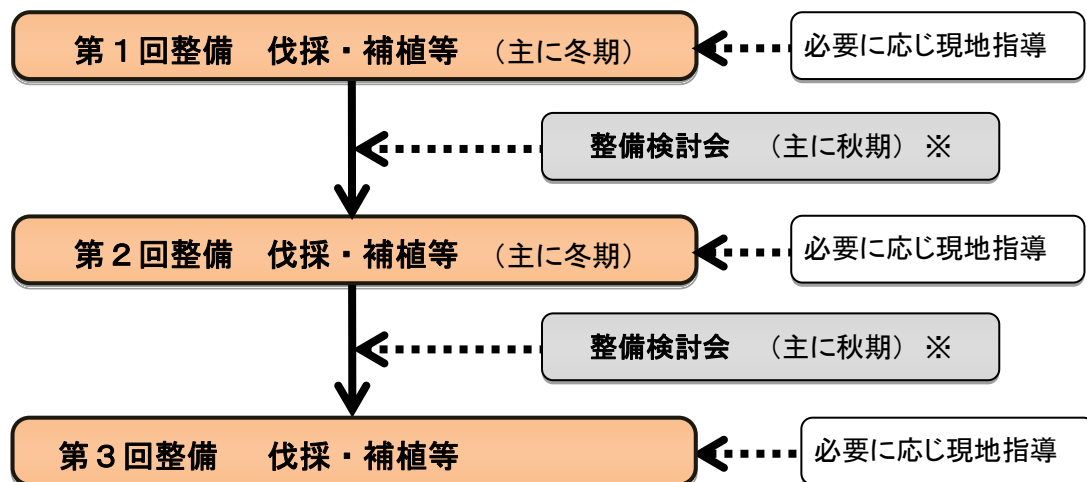
図：工区と整備順位

	留意事項等	整備量	整備効果	部分整備 や断続整備 の許容 度	考え方	整備 順位 (案)
①参道	都市公園と東大寺境内地にまたがる。	中	大	大	整備可能な部分から着手し、必要に応じて断続的に整備を実施する。	1
②三社池	・眺望の変化を確認しながら、慎重に整備する必要がある。 ・東大寺本坊との調整が必要。	小	中	大	植栽管理で対応できる部分もあることから、期間を掛けて慎重に整備を進める。	適宜
③春日野北	ソメイヨシノの植栽は、比較的早期に効果が得られる。	大	大	中	整備しやすく効果も大きいので、できるだけ早期に着手し、2～3年で整備を完了させる。	1
④春日野南	他工区との調整に適する。	極小	小	大	特に整備時期等を定めない。	適宜
⑤浮雲西	年中来園者が多い場所なので、工期設定を十分検討にする必要がある。	特大	大	小	整備量が多く、整備影響も大きいことから、工程や予算措置、広報などを十分に準備を行ってから整備に着手する。	2
⑥浮雲東	・一体整備とするため新公会堂庭園の計画・設計完了が前提となる。 ・仕立物マツの移植は、根回しが必要。	大	大	小	新公会堂庭園の整備内容が確定してから、改めて検討する。	3

表：整備順位の検討

(3) 重要な眺望景観に関わる整備の監理

重要な眺望景観に関わる整備は、適切に監理を行う必要があることから、以下の体制を基本に実施する。



※ 整備検討会は、植栽計画検討委員会又は同委員会の監督下にある部会として開催する。

(4) 事業計画の検討

1) 概算工事費

事業計画の検討材料として、概算工事費を算出する。

○概算工事費

	伐採・除根費	植栽費	土壌改良費	計
①参道	7百万円	5百万円		12百万円
②三社池	6百万円	1百万円		6百万円
③春日野北	8百万円	5百万円	4百万円	16百万円
④春日野南	2百万円	1百万円		3百万円
⑤浮雲西	35百万円	10百万円		46百万円
⑥浮雲東	30百万円	6百万円		36百万円
計	88百万円	27百万円	4百万円	119百万円

※本工事費は本計画の概数を基に算出したもので、設計時に大きく変動することがある。経費率 75%、消費税率 8%

2) 事業計画 (案)

整備内容及び概算工事費等を勘案し、整備工事に関する事業計画 (案) をとりまとめた。整備内容や整備量によっては植栽管理の一環として実施可能であることから、適宜整備工事と植栽管理の分担調整を図りながら事業を進めることが望ましい。

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①参道	実施設計	整備工事-1	整備工事-2			
②三社池		整備工事				
③春日野北		整備工事-1	整備工事-2			
④春日野南		実施設計	整備工事			
⑤浮雲西			整備工事-1	整備工事-2	整備工事-3	
⑥浮雲東			移植準備 工事	整備工事-1	整備工事-2	整備工事-3
新公会堂庭園					整備工事-1	整備工事-2

表：事業計画 (案)